## 【課題 17:stock\_prices.py】



図 1 (株) 三菱 UFJ フィナンシャル・グループのページ:2022 年 10 月 14 日から 11 月 11 日までの 20 日間の株価 データを表示している.

採点の都合上、以下の要件を満たすこととする:

- (1) StockPrice クラスは変更しない;
- (2) 「if \_\_name\_\_」内では、以下を行う;
  - (a) コマンドライン引数にて、対象ファイルのパスを取得する;
  - (b) read\_html 関数を用いて、対象ファイル内の html ソースを読み込む;
  - (c) 日付と株価関連の値を正規表現により抽出する. なお、株価関連の値(始値、高値、安値、終値、出来高、調整後終値)は、いずれも同じパターンで記述されている;
  - (d) 抽出した日付と株価関連の値を属性にもつ StockPrice クラスのインスタンスを生成し、後述する StockPrices クラスに append する;
- (3) StockPrices クラスを実装する;
  - (a) list クラスを継承する;
  - (b) StockPrice クラスのインスタンス以外を append できないようにする;
- (4) 不要なモジュールは import しない;
- (5) デバッグ用の print など必要ないものはコメントアウトし, 出力が図 2 になるようにする;

```
PS C:\Users\admin\Desktop\ProA2> python lec08/kadai17/stock_prices.py lec08/data/ufj.html
StockPriceオブジェクト以外は追加できません
StockPrice(date='2022年11月1日', hajimene='716.4', yasune='706.1', owarine='710.8', dekidaka='47,598,200', owarine2='710.8')
StockPrice(date='2022年11月1日', hajimene='708.3', takane='711.3', yasune='706.4', owarine='710.8', dekidaka='28,718,200', owarine2='710.7')
StockPrice(date='2022年11月9日', hajimene='707.3', takane='711.3', yasune='706.4', owarine='708.5', dekidaka='38,718,200', owarine2='710.8')
StockPrice(date='2022年11月8日', hajimene='707.3', takane='714', yasune='706.4', owarine='708.5', dekidaka='36,25,000', owarine2='708.5')
StockPrice(date='2022年11月7日', hajimene='707.3', takane='704.9', owarine='701.8', dekidaka='42,531,800', owarine2='708.5')
StockPrice(date='2022年11月7日', hajimene='708', takane='709', yasune='709.3', owarine='702', dekidaka='42,728,700', owarine2='702.3')
StockPrice(date='2022年11月1日', hajimene='705.4', takane='708.9', yasune='706.6', owarine='702.3', dekidaka='42,728,700', owarine2='702.3')
StockPrice(date='2022年11月1日', hajimene='705.4', takane='707.2', yasune='701.2', owarine='703.3', dekidaka='43,086,600', owarine2='702.3')
StockPrice(date='2022年10月31日', hajimene='705.4', takane='700.5', yasune='691.2', owarine='699.5', dekidaka='34,022,800', owarine2='703.3')
StockPrice(date='2022年10月31日', hajimene='694.4', takane='700.5', yasune='691.3', owarine='697.5', dekidaka='34,912,000', owarine2='687.5')
StockPrice(date='2022年10月28日', hajimene='709.5', takane='710.5', yasune='691.1', owarine='691.1', dekidaka='44,516,600', owarine2='691.1')
StockPrice(date='2022年10月25日', hajimene='705.5', takane='716.5', yasune='709.4', owarine='709.4', dekidaka='44,516,600', owarine2='709.4')
StockPrice(date='2022年10月25日', hajimene='705.1', takane='716.5', yasune='699.4', owarine='709.4', dekidaka='54,950,800', owarine2='709.4')
StockPrice(date='2022年10月25日', hajimene='705.1', takane='707.7', yasune='699.4', owarine='709.4', dekidaka='54,950,900', owarine2='709.3')
StockPrice(date='2022年10月26日', hajimene='688.7', takane='698.2', yasune='689.4', owarine='693.1', dekidaka='56,380,500', owarine2='693.1')
StockPric
```

図 2 課題 17 の実行結果

## リスト1 stock\_prices.py

```
1 @dataclass
 2 class StockPrice:
       date: str
       hajimene: float
       takane: float
 6
       yasune: float
       owarine: float
       dekidaka: int
       owarine2: float
9
10
11
12 def read_html(file_path):
       with open(file_path, "r", encoding="utf8") as rfo:
13
           html = rfo.read()
14
       return html
15
16
17
18 if __name__ == "__main__":
19
20
21
22
       ### これより下を変更しないこと ###
23
24
       try:
           sp_lst.append(243)
       except Exception as e:
26
           print(e)
27
28
       print(f"{len(sp_lst)}日間の株価データ:")
29
       for sp in sp_lst:
30
           print(sp)
31
```

# 【課題 18:cs\_teachers.py】

配布した teachers.html から,正規表現を用いて CS 教員の名前,詳細ページの URL,職位,専門分野を抽出し,これら を属性に持つ Teacher オブジェクトを生成するコードを実装せよ.teachers.html は図 3 のソースコードである.



図3 コンピュータサイエンス学部の教員紹介のページ:全38教員の情報が表示されている.

# 採点の都合上,以下の要件を満たすこととする:

- (1) 「if \_\_name\_\_」内では、以下を行う;
  - (a) コマンドライン引数にて、対象ファイルのパスを取得する;
  - (b) read\_html 関数を用いて、対象ファイル内の html ソースを読み込む;
  - (c) 正規表現により、CS 全教員 (38人) の情報 (詳細ページの URL, 名前, 職位, 専門分野) を抽出する;
  - (d) ダミー教員であるほげほげ先生(URL: hoge/fuga/: piyopiyo-1.html / 職位:教授/専門分野:プログラミング)を追加する。ダミー教員を追加する意図は,Teacher クラスの属性に設定したディスクリプタが,ふさわしくない URL を検出できるかを検証するためである;
  - (e) 例外処理により、ディスクリプタにより ValueError が raise されても異常終了することのないようにする;
  - (f) コメントアウト部分は修正してもよいし、使用しなくてもよいが、出力結果は図 4 となるようにする;
- (2) Teacher クラスを実装する;
  - (a) 教員の名前,詳細ページの URL,職位,専門分野を属性に持つ;
  - (b) URL を表す属性には、URL としてふさわしい文字列かどうかを正規表現により検証するディスクリプタを設置する;
  - (c) 職位を表す属性には、「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」のみを設定可能として、これらの職位かどうかを 正規表現により検証するディスクリプタを設置する;
  - (d) Teacher クラスのインスタンスを print した際に、図 4 のように出力されるように特殊メソッドをオーバーライドする;
- (3) ディスクリプタクラスを 1**つだけ**実装する;
  - (a) ディスクリプタをインスタンス化する際に正規表現を引数として渡せるように、イニシャライザのパラメータ を設定する;
  - (b) URLと職位の値を属性に代入する際に正規表現による値の検証を行い,条件を満たさない場合は図 4 のような ValueError を raise する;
- (4) 不要なモジュールは import しない;

図 4 課題 18 の実行結果: CS 教員 38 人にダミー教員 1 人を追加して、リストの長さは 39 となっている例.

#### リスト 2 cs\_teachers.py

```
1 def read_html(file_path):
       with open(file_path, "r", encoding="utf8") as rfo:
          html = rfo.read()
3
      return html
4
5
7 if __name__ == "__main__":
9
      # match_lst.append(("hoge/fuga/:piyopiyo-1.html", "ほげほげ", "教授", "プログラミング"))
10
      # print(f"リストの長さ:{len(match_lst)}")
11
      # for i, match in enumerate(match_lst, 1):
12
      # try:
13
      # name = match[1]
14
      # url = "https://www.teu.ac.jp"+match[0]
15
      # pos = match[2].split()[0]
16
17
      # field= match[3]
      # t = Teacher(name, url, pos, field)
      # print(i, t)
19
      # except Exception as e:
20
      # print(i, e)
21
```